

小学校 外国語科 学習指導案

〇〇〇〇立〇〇〇学校
指導者 〇〇〇〇〇

1. 日 時 令和〇年〇月〇日 (〇)

2. 場 所 第6学年〇組教室

3. 学年・組 第6学年〇組 (〇〇名)

4. 単元名 Lesson 2 We have Children's Day in May (使用図書：教科書：crown Jr.2)

5. 単元の目標

他府県の小学生に大阪へ行きたいと思ってもらえるように、大阪にあるものや場所、そこでできることなどについて、感想や様子などを交えながら伝えようとする内容を整理し、具体的に大阪の魅力を伝えることができる。

6. 教材観

本単元は、学校や日本の行事、自分の町にある施設などについてその魅力を伝え合うことをねらいとしている。

Lesson1 では、自分たちに共通することを伝え合う学習として、We are ～. We can ～. We have ～. など We を使った表現について学習し、「ALT に自分たちの学校をよく知ってもらうために学校紹介をしよう」というゴール設定のもと動画を作成して学校紹介を行った。

Lesson2 では、単元目標である「他府県の小学生に大阪へ行きたいと思ってもらえるように、大阪の魅力を伝えよう」という活動へ向けて、この4月に東大阪に引っ越してきた ALT に東大阪のおすすめスポット、食、イベントなどの魅力を伝える言語活動を行ってきた。表現は、学校紹介で使った We have ～、We can ～、に加え、You can ～や、5年生で学習した It is in ～. などを使って説明することもできることを学習した。また、魅力を十分に伝えるためには、形容詞も必要なことに気づかせ、表現を増やしている。Lesson1 と2 を順序通りではなく、複数単元のゴールとなるパフォーマンス課題にむけて、毎時間の授業の言語活動を組み立て、授業を進めてきた。そのため、日本の行事については、1学期では取り扱っておらず、学校行事のみを取り扱っている。学習した表現を何度も繰り返し使用することで定着率は高くなるので、2学期以降に学校紹介で学んだ表現をもとに、small talk などを通して日本の行事が行われるそれぞれの時期に、リアルタイムで学習していきたいと思っている。

7. 児童観

(※省略)

8. 指導観

本単元の「他府県の小学生に大阪へ行きたいと思ってもらえるように、大阪にあるものや場所、そこでできることなどについて感想やその様子なども交えながら具体的に大阪の魅力を伝えることができる。」という目標達成に向けて、4月から新しく来てくれた ALT に向けての自己紹介や学校紹介、東大阪の紹介など、伝える場面や状況を変えながら言語活動を多く設定してきた。small talk では、自分たちの生活になるべく直結するテーマを選び、話を楽しんでいる。昨年度から、small talk を継続して毎時間授業に取り入れ

ているので、児童もあまり抵抗なく話すことができるようになってきた。しかし、まだまだ会話を継続することには課題がある。ALT とのやりとりを通して、質問に対してスムーズに答えるなどの力をつけさせたい。様々な言語活動を設定することで、相手を意識しながらどんなことを伝えれば良いのか、どのように伝えれば良いのかなどを考えながら伝えさせている。

本単元では、小学生が行きたい観光地ランキングや、高知県の小学生が持つ大阪のイメージを紹介し、他府県の小学生が大阪に来たいと思ってもらうために、大阪の魅力をそれぞれが考えることから言語活動につなげた。大阪から遠く離れた高知県の小学生に、大阪の PR 動画を作成し、動画を送る。また、動画を見た感想をリアルタイムで伝えあう活動を通して、自分たちが知っている大阪の魅力を伝えることに意欲的に活動していくと思われる。まったく異なる環境の中で生活する友だちとの交流で、お互いの日常的に使う単語や表現も異なり新たな知識となりうると考えられる。

本時では、友だちどうしでお互いの考える大阪の魅力を交流することで、相手の意見をよりよく理解しながら、自分の考えを深め、広げ、ゴールの達成に迫りたい。初めて出会う高知県の小学生と自分たちの住んでいる町について紹介しあうことで、自分たちしか知らない自分の町の魅力を再認識し、自分の町の大切さに気づき、自分の町に誇りをもてる活動となつてほしい。また、他府県、世界へと興味を広げ、お互いを尊重しあいながら自分の世界観を広げていってほしいと考える。

9. 単元の評価規準【評価する領域：話すこと（発表）】

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<知識> 町にある施設やそこでできることなどの言い方や、We have～、We can～、This is ～、It is ～、などの表現について理解している。 <技能> 町にある施設やそこでできることの言い方や、We have～、We can～、This is ～、It is ～、などの表現を用いて、自分の町の魅力を伝える技能を身につけている。	他府県の小学生に大阪へ行きたいと思ってもらうために、大阪にあるものや場所など、そこでできることなどについて感想やその様子も交えながら伝えようとする内容を整理し、具体的に大阪の魅力を伝えていく。	他府県の小学生に大阪へ行きたいと思ってもらうために、大阪にあるものや場所など、そこでできることなどについて感想やその様子も交えながら伝えようとする内容を整理し、具体的に大阪の魅力を伝えようとしている。

10. 単元の指導と評価の計画（全 12 時間）

時	学習内容	主な評価規準【観点】（評価方法）
第1時	◇東大阪のイメージを伝え合おう。 ・ small talk Where do you want to go this summer vacation? ・ What is your image of Higashiosaka? シンキングツールを使って、東大阪のイメージを考える。	「指導に生かす評価」は随時 行うこととする。ここに改めて記載はしない。
第2時	◇ALT の〇〇先生に東大阪の生活を楽しんでもらうために、おすすめスポットの紹介の仕方を考えよう。 ・ small talk What ramen restaurant do you like? ・ Panorama ページを読んだり聞いたりして、町紹介の仕方を考えよう。 ・ 大阪府立図書館を紹介してみよう。	

第3時	◇ALT の〇〇先生に東大阪の生活を楽しんでもらうために、おすすめスポットを紹介しよう。 ・ small talk Which prefecture do you like? Why? Because～ ・ 東大阪のおすすめスポットを紹介する。	
第4時	◇ALT の〇〇先生に東大阪の生活を楽しんでもらうために、おすすめスポットを紹介しよう。 ・ ALT の〇〇先生におすすめスポットを紹介する。	
第5時	◇ALT の〇〇先生に美味しいものを食べてもらうために、おすすめのレストランを紹介しよう。 ・ small talk What do you want to do after school? ・ 東大阪のおすすめレストランを紹介する。	
第6時	◇ALT の〇〇先生に東大阪の生活を楽しんでもらうために、おすすめの買い物スポットを紹介しよう。 ・ small talk What do you want to do this weekend? ・ おすすめのお買い物スポットを紹介しよう。	
第7時	◇ALT の〇〇先生に東大阪の生活を楽しんでもらうために、東大阪のイベントを紹介しよう。 ・ small talk Do you have festival in America?	
第8時	◇大阪の魅力について考えよう。 ・ small talk Do you like traveling? Why? Because～ ・ 小学生が行きたい都道府県ランキングを見る。 ・ 高知県の小学生の大阪のイメージを知る。 ・ What can we do for Osaka? ・ シンキングツールを使って大阪の魅力は何か考える。	
第9時 (本時)	◇他府県の小学生に大阪へ行きたいと思ってもらうために、自分たちの町大阪の魅力を伝えよう。 ・ small talk Do you like Osaka? Why? Because～ ・ 伝えたい内容を考え友だちや ALT の〇〇先生に伝えよう。 ・ アドバイスをもらいながら、もっとよく伝えるようにするための表現を考える。	

第 10 時	◇他府県の小学生に大阪へ行きたいと思ってもらうために大阪の PR 動画を作ろう。	
第 11 時	◇他府県の小学生に大阪へ行きたいと思ってもらうために大阪の PR 動画を作ろう。	【知識・技能】（動画・カード） 【思考・判断・表現】（動画・カード） 【主体的に学習に取り組む態度】 （動画・カード）
第 12 時	◇高知県の小学生とお互いの町の魅力を伝え合おう。 ・オンラインでお互いの町の魅力を伝え合う。 ・動画の感想を伝え合う。	

11. 本時の展開

(1) 本時の目標

他府県の小学生に大阪に行きたいと思ってもらうために、自分たちの町大阪の魅力を伝えている。

(2) 本時の学習過程

時間	○学習内容・学習活動 【「つきたい力」への アプローチ】	予想される子どもの反応	●指導上の留意点 ◎評価規準（評価方法）
7 分 導 入	○greeting ○small talk Do you like Osaka? Why? Because～	あいさつをする。 Yes, I do. Because I can ～. I like ～	
	めあてを確認する。		

㊦：他府県の小学生に大阪へ行きたいと思ってもらうために、自分たちの町大阪の魅力を伝えよう。

35 分 展 開	○前時で考えた大阪の魅力について高知の小学生に伝える内容を友だちに伝えてみよう。 ○何人かの児童のカードを全体で共有する。 ○自分の内容を見直す。 ○ペアを変えて伝え合う。 ○全体で共有する。	ペアで伝え合う。 どう言えばよいか分からなかった表現や良かった表現について伝え合う。 友だちの内容を聞き、参考にしながらさらに改善する。 友だちの内容を聞く。 ・聞き手は伝えたい相手になりきって聞く。 ・リアクションしながら聞く。 ・感想やアドバイスを伝える。	●高知の小学生が知りたいと思うことは何かを考えて伝えるようにさせる。 ●伝えるべき内容となっているか、分からない表現はないか、良かった表現は何かなどを確認する。 「指導に生かす評価」 ◎他府県の小学生に大阪に行きたいと思ってもらうために、必要な内容を適切に選んだり、整理したりしながら伝えている。 【思考・判断・表現】 （観察・カード・発表）
-------------------	--	--	--

3 分 ま と め	ふりかえりをする。	・高知の小学生に伝えたい内容を考えることができたか、大阪のどんなことを知ってほしいか、分からない表現や新しく知った表現は何かについて書く。	「指導に生かす評価」 ◎他府県の小学生に大阪に行きたいと思ってもらうために、必要な内容を適切に選んだり、整理したりしながら伝えようとしている。 【主体的に学習に取り組む態度】（ふりかえり）
-----------------------	-----------	---	--